

TECHNICAL DATA

塗装仕様	浸透性防カビ剤
製品名	カビアタック

第5版 作成日：2023年 4月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

塗装仕様：浸透性防カビ剤

製品名：カビアタック

用途：内外装の仕上工事におけるカビ抑止

部位：内外部壁面

1. 工程表

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
かび抑止	カビアタック 主材：4L 無希釈	ウールローラー 等	1	-	15~20㎡/4L 0.2~0.27L/㎡

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

2. 材料荷姿

かび抑止：カビアタック

NET：4L/容器

3. 施工要領

3-1. 素地調整

○素地の乾燥は、十分に行ってください。(含水率10%以下、pH10以下)

3-2. 材料の混ぜ合わせ

○無希釈で使用してください。

3-2. 施工

○換気を十分にしてください。

○だれ、塗り残しのないように塗り付けてください。

成分表

かび抑止剤：カビアタック

内	容	重量 (%)
アルコール系溶媒		97.5
防カビ剤		2.5
	計	100.0

性能試験成績書

塗装仕様	浸透性防カビ剤										
製品名	カビアタック										
供試材料	カビアタック										
試験方法	弊社独自の方法による										
試験結果	<p>【カビ抵抗性試験】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>培養期間</th> <th>結果の表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7日</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>14日</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>21日</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>30日</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p><表示></p> <ul style="list-style-type: none"> - …試料面にカビの生育が全く認められないもの。 +1…試料面の1/3以下にカビの生育が見られるもの。 +2…試料面の1/3～2/3にカビの生育が認められるもの。 +3…試料面の全体のカビの生育が認められるもの。 	培養期間	結果の表示	7日	-	14日	-	21日	-	30日	-
培養期間	結果の表示										
7日	-										
14日	-										
21日	-										
30日	-										
<p>所定の培地上に供試材料を塗布したろ紙を置き、調整した7種の菌の混合孢子懸濁液を噴霧。 28±2℃で培養して観察。 ただし、混合孢子懸濁液は以下の7種を用いた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1群の(2) <i>Aspergillus niger</i> van Tieghem FERM S-2 2. 第2群の(2) <i>Penicillium funiculosum</i> Thom FERM S-6 3. 第4群の(1) <i>Cladosporium cladosporioides</i> (Fresenius) de Vrieg FERM S-8 4. 第4群の(2) <i>Aurecladium Pullulans</i> (de Bary) Srnaud FERM S-9 5. 第4群の(3) <i>Gliocladium virens</i> Miller, Giddens & Foster FERM S-10 6. 第3群の(1) <i>Rhizopus oryzae</i> Wenx et Prinsen-Geerligs FERM S-7 7. 第5群の(1) <i>Chaetomium globusum</i> Kunze ex Fries FERM S-11 											

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

一般的な注意事項

《環境》

- 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられる場合、外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 開缶時は確実に密栓し保管してください。
- 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与えるなど粗暴な取扱いはしないでください。
- 材料を取扱う場合は、特に火気に注意し消防法及び、労働衛生衛生法等を厳守してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態で密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

● 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。